

各 位

2016年10月17日
神奈川県足柄上郡松田町
一般社団法人エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議
ほうとくエネルギー株式会社
湘南電力株式会社
株式会社エナリス

松田町の再生可能エネルギーの地産地消と地域防災対策を推進 松田町がほうとくエネルギー、湘南電力、エナリスと協定締結

神奈川県足柄上郡松田町（町長：本山博幸、以下、松田町）は、同町内における再生可能エネルギーの地産地消と地域防災対策を推進するため、ほうとくエネルギー株式会社（本社：小田原市、代表取締役社長：蓑宮武夫、以下、ほうとくエネルギー）、湘南電力株式会社（本社：平塚市、取締役社長：渡部健、以下、湘南電力）、株式会社エナリス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：村上憲郎、以下、エナリス）の3社と「エネルギー地産地消モデルの構築に関する協定書」を締結しました。

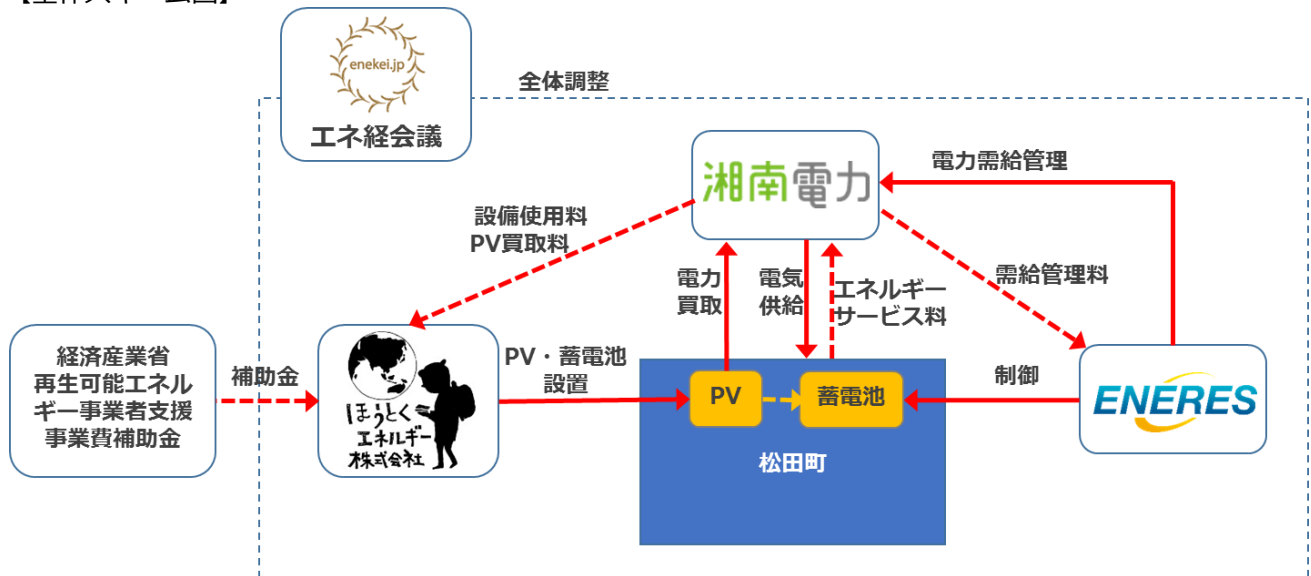
松田町は、町内の防災対策の一環として、公共施設への太陽光発電設備及び蓄電池の設置を進めてきました。また、一方で松田町第5次総合計画「新まちづくりアクションプログラム」の一つに掲げる「環境に配慮したまちづくり」に基づき、町内における再生可能エネルギーの地産地消を進めるための検討を重ねてきましたが、町内の発電設備では地産電力に限界があること、太陽光発電設備、蓄電池を導入するには相当の投資が必要になることなどが課題となっていました。そこで、松田町は、再生可能エネルギーの地産地消による地域経済と地域社会の自立を目指す一般社団法人エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議（東京都千代田区、代表理事：鈴木悌介、以下、エネ経会議）の協力を得て、地域に密着した発電事業を展開するほうとくエネルギー、神奈川県内における電力の地産地消を目指す湘南電力、湘南電力の親会社で蓄電池制御によるエネルギーマネジメント及び電力の需給管理を得意とするエナリスの3社と協定を結び、各社の協力・連携の下、再生可能エネルギーの地産地消と地域防災対策を、財政的な負担なく推進してまいります。

具体的には、町内の公共施設9箇所について、神奈川県内の再生可能エネルギーから発電した電気（FIT電気含む）が優先的に供給される湘南電力に切り替えを行うほか、松田町健康福祉センターと寄小学校に太陽光発電設備と蓄電池を導入します。太陽光発電設備・蓄電池の設置は、再生可能エネルギーの地産に貢献すると同時に、系統停電時には松田町施設の自立電源として活用できるため、地域の防災にも役立てることが可能となります。

《報道関係者お問い合わせ先》

松田町役場 総務課管財係 担当：遠藤 TEL：0465-83-1221 E-mail：kanzai@town.matsuda.kanagawa.jp
エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議
担当：小山田 TEL：0465-24-5180 E-mail：contact@enekei.jp
ほうとくエネルギー株式会社 担当：志澤 TEL：0465-23-0077 E-mail：info@houtoku-energy.com
株式会社エナリス（湘南電力株式会社） コーポレートコミュニケーション室
担当：谷本 TEL：03-6657-5453 E-mail：pr@eneres.co.jp

【全体スキーム図】



エネ経会議 →松田町と各社の調整役

ほうとくエネルギー →同社が所有する太陽光発電設備、蓄電池を設置

湘南電力 →松田町に、神奈川県産の電力を優先的に供給。

エナリス →施設に設置された蓄電池を制御しエネルギーマネジメントを実施。
また湘南電力の需給管理も行う。

※湘南電力及びエナリスは、神奈川県と「電力の地産地消推進事業の取組に関する協定書」を締結しています。

※太陽光発電の設置にあたっては、経済産業省の再生可能エネルギー事業者支援事業費補助金を活用する予定です。

【公共施設の電気供給切り替え】

- 対象施設：松田町役場庁舎をはじめとする公共施設 9 拠点
- 切替日：2016年11月1日から随時

【太陽光発電設備・蓄電池の設置】

- 対象施設：健康福祉センター、寄小学校
- 設置時期：2017年1月末を目途に設置予定
- 導入設備：太陽発電設備 10kW
蓄電池 10kWh

【今後の展開】

今後も、松田町とエネ経会議、ほうとくエネルギー、湘南電力、エナリスは、松田町の再生可能エネルギーの地産地消及び地域防災対策の促進に取り組んでまいります。